

2007年

神子元島レース 帆走指示書

発行2007年10月16日

主催:日本セーリング連盟(JSAF)加盟団体 外洋三崎

運営:2007 神子元島レース実行委員会



1. 適用規則

- 1-1 2007 神子元島レース公示及び帆走指示書
- 1-2 海上衝突予防法
- 1-3 JSAF 外洋特別規定 2007-2008
- 1-4 セーリング競技規則 2005-2008 (RRS)
- 1-5 JSAF ORC クラブ運用規程 (ORC-club Rule2007 が発行された場合はこれに準拠する)
- 1-6 JSAF 外洋レース規則 - 2000(第 08 条は本レース通信指示書におきかえる)

*** 上記 1-1~1-6 に矛盾が生じた場合は、1-1 が優先される。**

2. 公式掲示板

- 2-1 競技者に対する通告は、10月20日(土曜日)07:30以降レース本部に設置されたレース本部公式掲示板にて行う。
- 2-2 競技者に対する通告は、本帆走指示書で規定されている通告方法が優先される。
- 2-3 レース本部においてのフラッグの掲揚、音響による通告、指示、連絡は行わない。

3. レース旗及びクラス旗

- 3-1 レース旗：レース艇は JSAF クラブ旗・レース旗の順に掲揚し、チェックインから自艇のレースが終了するまでは、レース旗の下辺がデッキより1.5m 以上の高さになるよう掲揚すること。
- 3-2 クラス旗：“クラス旗”は用いない。

4. スタートエリア

スタートエリアは小網代沖とする。

5. コース

- 5-1 レースコース
小網代沖(スタート) - 神子元島(反時計廻り) - 網代崎灯浮標(右に見て) - 小網代湾口
(フィニッシュ)
- 5-2 公式距離 : 99 マイル

6. マークの種類

- 6-1 スタートアウターマーク : 黄色円筒ブイ
- 6-2 フィニッシュアウターマーク : 黄色円筒ブイ (夜間はブイトップにストロボライトが付く)



7. スタート

7-1 スタート日時 : 2007年10月20日(土) 10:25 (スタート予告信号)

7-2 チェックイン

7-2-1 参加艇はL旗を掲揚した本部船または運営艇後方を右側に見て通過し、出走および乗員数の確認を受けなければならない。

7-3 スタート方式

7-3-1 全艇同時スタートとする。

7-3-2 スタート信号後20分を超えてからスタートラインを横切ってもスタートとは認めない。

7-3-3 RRS26 を適用する。また、予告信号は“JSAF大クラブバージ”とする。

7-3-4 フラッグの掲揚と時間

信号	旗	音響	スタート迄の時間(分)
予告	JSAF大クラブバージ	掲揚 音響1声	5
準備	P旗、I旗、Z機又は黒色旗	掲揚 音響1声	4
1分	準備信号旗	降下 長音1声	1
スタート	JSAF大クラブバージ	降下 音響1声	0

掲揚旗参考例 (準備信号にP旗を使用した場合)

	チェックイン UP	DOWN	予告信号 UP	準備信号 UP	1分前 DOWN	スタート DOWN
掲揚旗						
スターティング ボード ディスプレイ						

8. スターティングライン

8-1 スタートラインは、スターボードの端に位置するスターティングボード(LADY LAHAINA

YAMAHA33S)のJSAF大エンサインを掲揚したマストとポートの端に位置するアウターマークを結んだ見通し線とする。

9. リコール

9-1 RRS29.1 に該当する個別のリコール対象艇名を VHF71ch で放送する場合もある。(RRS29.1 への追加。)

9-2 放送に関する救済要求は受け付けない。



10. 運営艇

- 10-1 スターティングボート: (LADY LAHAINA YAMAHA33S) JSAF 大エンサインを掲揚する。
- 10-2 フィニッシングボート: (LADY LAHAINA YAMAHA33S) JSAF 大エンサインを掲揚する。
- 10-3 その他の運営艇 : JSAF小エンサインを掲揚する。

11. 公式日の出、日没時刻と公式時間

- 11-1 日没時刻は10月20日(土) 17:00、日の出時刻は10月21日(日) 06:00 とする。
- 11-2 日没から日の出までの間は海上衝突予防法を適用し、RRS 第2章は適用しない。
- 11-3 時間は日本標準時間(JST)を用いる。

12. フィニッシュライン

- 12-1 フィニッシングボート(LADY LAHAINA YAMAHA33S)のJSAF大エンサインを掲揚したマストとアウトマークを結んだ見通し線とする。
- 12-2 日没後は、フィニッシングボートのマストに“錨泊灯”と“赤色灯縦2つ”を点灯し、アウトマークには“ストロボライト”が点滅する。
- 12-3 日没後のフィニッシュは、フィニッシュの“5分前”までにA符号(・)を発光信号で連送し予告すること。
- 12-4 フィニッシュ時は自艇のメインセールをライトで照射し、フィニッシングボートが確認しやすいようにすること。
- 12-5 ケブラーセール、ブラックセール艇は光が反射してセールナンバーを確認できない場合があるので、自艇のセールナンバーを発声にてフィニッシングボートに申告すること。

13. 失格に変わる罰則

RRS 第2章の規則違反以外の失格に代わる罰則として、早すぎるスタートをし、定められた方法でリコールを解消しなかった艇については、OCSに代えてタイムペナルティーとして5%が所要時間に課せられる。

14. タイムリミット

- 14-1 タイムリミットは10月22日(日曜日)13:00とする。
- 14-2 タイムリミットまでにフィニッシュできなかった艇はDNFと記録される。(RRS35の変更)

15. 航跡図への記入

神子元島灯台を“MAG. 0°”に確認した時刻、フィニッシュ時刻、自艇の航跡、その他必要事項を正確に記入しなければならない。



16. 無線通信

16-1 参加艇は下記の要領で必要な連絡を行わなくてはならない。

* 定時ロールコール : 18:05、00:05、06:05、12:05、からリスト順に従いロールコールを行う。

* 報告事項 : 定められたロールコール時刻の自艇の位置(度、分のみ)、艇、乗員の状況など
(こちらからリクエストがあった場合は風向、風速、艇速も連絡)

* フィニッシュ予告連絡 : 想定されるフィニッシュタイムのおよそ1時間前に行うこと。

16-2 付則-1の神子元島レース通信規定に従い運用すること。

16-3 定められた通信を行わなかった場合は、タイムペナルティーとして20%を所要時間に課することができる。

17. 帰着申告

17-1 帰着申告は、レース報告書および航跡図に必要事項を記入し、艇長署名の上、自艇のフィニッシュ後2時間以内にレース本部またはフィニッシングボートに提出しなければならない。

17-2 提出書類が正しく記載されていない場合、あるいは提出期限に遅れた場合は、タイムペナルティーとして20%を所要時間に課す。

18. レースの成立

1艇以上のタイムリミット内フィニッシュを持ってレースの成立とする。

19. レースの中止

19-1 スタートボートに“N旗”を掲揚し“音響3声”を発する。

19-2 “N旗”は“音響1声”とともに次の信号の1分前に降下される。

19-3 スタートボートに“N旗”と“A旗”が掲揚され“音響3声”を発してレースを中止した場合、参加各艇は直ちに帰港するものとする。

19-4 その後の通告は、公式掲示板に定められた方法にて行う。

19-5 レイトエントリー締切日までに参加艇の総数が3艇未満の場合はレースを中止する。

20. インспекション

20-1 インспекターはレース委員長によって任命され、事前・レース後に規定に適合しているか否かをチェックする権限を持つ。

20-2 フィニッシュ直後のインспекションはレース委員長の判断によりフィニッシュした艇に対して実施される場合もある。しかし、気象、海象及び時間帯など、インспекターの安全の確保が出来ないとレース委員長が判断したときは行わない。



21. プロテスト委員会

プロテスト委員会は3名以上を持って構成され、審問および判決に関しては3名以上により行われる。

22. 抗議

22-1 抗議は、RRS61 に従って自身の抗議の意思を当該相手艇に対して通告(赤色旗の掲揚等)すると共に、フィニッシュ時にその抗議の意思と相手艇名をフィニッシュ担当の運営艇に告げ、タイムリミット後2時間以内に所定の抗議書により、レ - ス委員会(陸上本部)に提出しなければならない。

22-2 プロテスト委員会が決定した審問の日時は公式掲示板に掲示される。

23. レース艇の義務

出艇申告をし、スタートしない艇および棄権艇は、レース本部まで直ちに連絡しなければならない。連絡は必ず艇の責任者が行き、第三者に伝言を託してはならない。

24. 出艇申告の変更(乗員の変更)

乗員の変更は、原則として、レース当日の07:30~08:30までに書面にてレース本部に提出すること。(FAXによる提出を認める)尚、遠来艇等を考慮してレース本部の電話でも受け付ける。但し、この場合、チェックイン時に出艇申告書の変更(乗員の変更)を本部船に提出すること。

25. 支援艇

いかなる支援艇及び支援要員も、予告信号以降、レース終了、または延期、中止となるまですべてのレース艇に近づく事を禁止し、さらに運営に支障をきたす行為も禁止する。これに従わない場合は、支援艇に関連する艇がレース委員会による抗議の対象となる。

26. 成績の算出と表彰

26-1 ORCクラブ証書による成績算出

26-1-1 パフォーマンス・ライン・システム(PL OFFSHORE)により計算する。

26-1-2 CTで同順位の艇がある場合は、GPHの低い艇を上位とする。

26-1-3 DAの係数を1、エージアローワンスの係数を1とする。

26-2 表彰

26-2-1 ファーストホーム賞と1~3位

26-2-2 4艇以上参加で3位まで、3艇参加で2位までの表彰とする。

27. レース本部

27-1 レ - ス本部

場所 : 京急マリーナ
神奈川県三浦市三崎町諸磯 1574

設置期間 : 2007年10月20日(土) 07:30 ~ 10月21日(日) 15:00まで



27-2 公式掲示板

場所 : 京急マリーナ

神奈川県三浦市三崎町諸磯 1574

設置期間 : 2007年10月20日(土) 07:30 ~ 10月21日(日) 15:00まで

27-3 連絡先

電話番号 090 - 1461 - 4984 (予備1) 080 - 3120 - 5681

ファックス番号 090 - 1461 - 7471

28. 緊急救助体制

各艇からの連絡状況、気象、海象の状況から遭難の可能性が高いとレース本部が判断した場合は、当該艇の緊急連絡先に連絡し協議の上、当該艇の緊急連絡先より海上保安庁に捜索要請を行う。

29. 実行委員会

実行委員長 : 古川 肇

レース委員長 : 山下 博史

レース副委員長 : 近藤 等

安全通信委員 : 赤間 匡

プロテスト委員長 : 市原恭夫

プロテスト委員 : 関恭一郎

プロテスト委員 : 高橋正美

以上



付 則 1

2007神子元島レース通信規定 (国際、マリン VHF 及び携帯電話による通信方法、時間はすべて JST)

目 的	時 刻・時 間	接続方法	通話・報告内容と通信例	そ の 他
VHF 使用 チャンネル 71ch スタート前 の 通話確認	09:30 - 10:00	本部 各艇	本部から コールサイン 感度はいいですか レース艇から コールサイン 感度良好 通信終わり	VHF、携帯電話ともに接続性、 通話感度、明瞭度等の確認を 行う。 *呼出方法 レース委員会が各艇を順次呼 びだす。 携帯電話では2度の接続不可 の場合、申告された2台目の 携帯電話に接続を試みる。
定時ロールコール	18:05 00:05 06:05 12:05	本部 各艇	コールサイン 位置(緯度・経度) 連絡内容、気象・海象 艇・乗員の状況	VHF、携帯電話ともに同運用手 順とする。 視認できる艇、船舶があれば 本部に連絡する。
		本部 各艇	確認、依頼	各艇に常時通信が可能となる 指示する場合もある。
フィニッシュの予告	予定1時間前	当該艇 本部	レース本部 自艇コールサイン 小網代灯浮標まで xx マ イル 艇速 xx ノット フィニッシュ予定時刻 通信終わり	VHF71ch か携帯電話にて連絡 をとる。

* 事故防止、捜索協力等のために VHF、携帯電話での義務事項を以下に定める。 *

- V H F** : 1. スタート1時間前より、フィニッシュ1時間後まで、海上保安庁他の各種警報などの入手のため CH16 を聴取常時受信可能の状態にしておくこと。
2. 毎時 05 分から、CH71 の聴取と相模湾海域の気象通報の聴取に極力努めること。
(マリン VHF 相模湾センター CH88 09:00 - 17:00、毎時 0 分から国際 VHF で聴取可能)
3. 本部と直接通信が出来ない場合は他艇に中継依頼をし、通信の確保に努力すること。
また、依頼された艇は中継に協力すること。
4. CH16 は呼出しチャンネルであるため通話は船間波に変波して行うこと。

携帯電話 : スタート1時間前より、フィニッシュ1時間後まで常時通信可能な状態にしておくこと。

本部電話番号(変更がある場合は公式掲示板で通知する)

本部-1	090 - 1461 - 4984
本部-2	080 - 3120 - 5681